

シアトル研修報告

Seattle Children's Heart Center 研修報告

循環器科 齋木宏文

2009年1月から2月にかけてシアトル小児病院心臓センターで小児循環器領域の画像診断を中心とした研修を受けました。シアトル小児病院心臓センターは米国北西部の先天性心疾患治療の中核病院であり、ワシントン州だけでなくアラスカやハワイを含む近隣6州、カナダや東ヨーロッパからも重症先天性心疾患の患者さんが集まってくる病院です。近年急速に診断手技や治療成績を向上させており、診断のためのモダリティ選択や精度向上に向けた取り組み、重症心疾患に対する循環器-心臓外科チームの評価方法と治療戦略を学びました。

先天性心疾患を評価する画像診断には超音波検査、カテーテル検査、CT、MRIがありますが、シアトル小児病院では特に各種超音波検査（胎児心エコー、経胸壁エコー、経食道エコー）とカテーテル治療、心臓MRIが優れていました。

超音波検査部門では心臓超音波検査を専門とする医師とともに手術室やカテーテル検査室、ICU、外来など様々な場面で構造異常や血行動態を評価し、米国流の手技や考え方を学び、日本の評価方法を伝えるなど双方向のコミュニケーションをとることができました。ほとんどの患者さんが超音波検査だけで心内修復手術を施行されており、カテーテル検査（治療）やCT、MRIの役割の違いが非常に興味深く思われました。また近年、日本でも胎児診断が普及しつつありますが、米国では胎児診断に基づいた施設選択や搬送、提示できる治療の選択肢は幅広く、この分野の先進性を感じました。

カテーテル検査室では主にカテーテル治療について学びました。バルーン拡張、ステント留置、コイル塞栓、経カテーテル的心房中隔欠損閉鎖、動脈管閉鎖デバイスなどほとんどのカテーテル治療は医師ひとりで行われており、時に専属の看護師が助手を務めていました。非常に高い技術を備えた医師が困難な症例を1日5人、6人と治療する様子は圧巻でした。カテーテル選択や操作など細かなエッセンスを実際に見せていただき、当院にはないカテーテルの特徴や使い方なども学ぶことができ、今後の治療に生かせるものと確信しています。

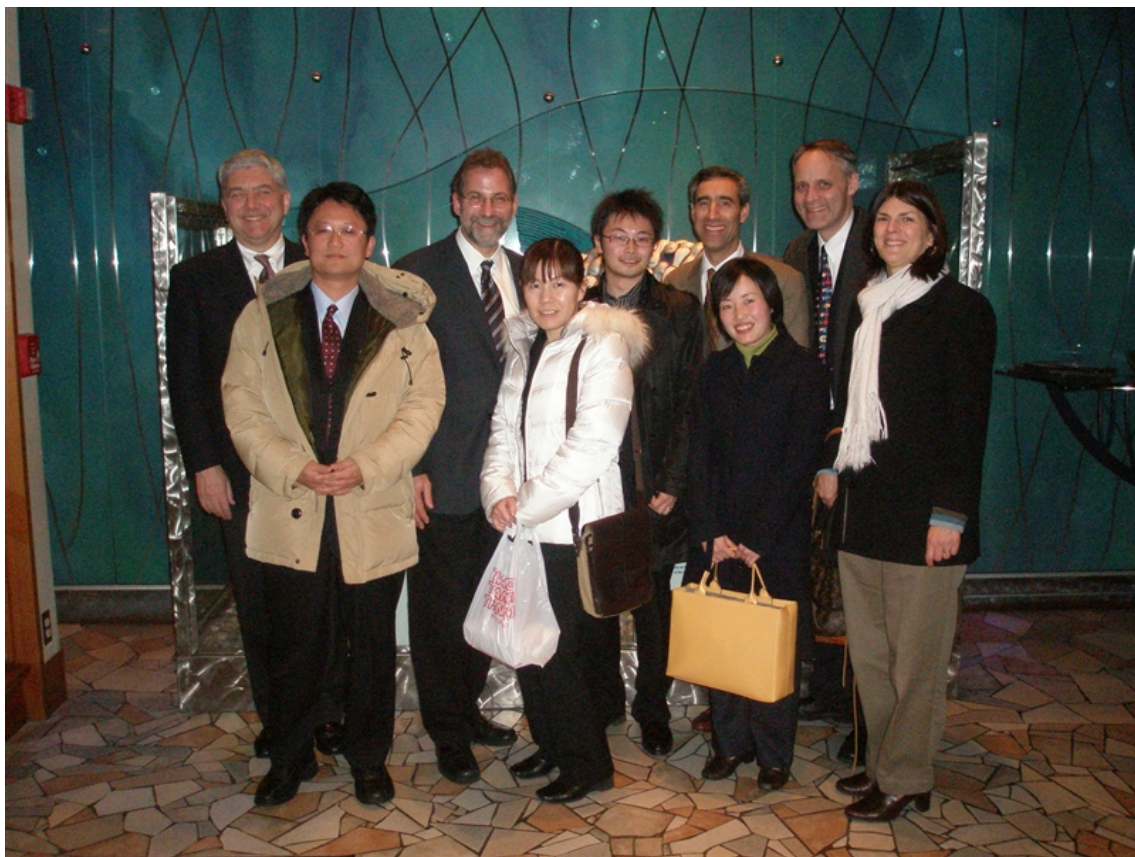
シアトル小児病院におけるMRI検査は症例によってはカテーテル検査にとってかわるほど有効な検査として位置付けられていました。小さな赤ちゃんでは限界がありますが、8～10kg以上のお子さんでは明瞭に血管構造や血行動態を描出していました。MRIを専門にしている小児循環器科医師とともに解析しながら互いの臨床経験を話し合い、非常に有意義な時間を持つことができました。

また休日や早朝、夜間はCICU回診やカンファレンスに参加しました。CICUでは重症心疾患の治療や呼吸・循環管理、周術期管理についてシアトル小児病院と兵庫県立こども

病院の違いを確認しました。日本との最も大きな違いは治療が行き詰った場合に心臓移植という“次の一手”があることです。治療選択が限られる場合、“次の一手”があることは患者さんにとっても、医療者にとってもとても心強いものです。今回、3人の心臓移植手術と5人の移植後遠隔期の患者さんを拝見することができました。もちろん心臓移植後の患者さん特有の大変な問題も少なくありませんが、重症心不全や重度の先天性心内構造異常のお子さんには唯一の治療方法であり、準備段階から全てのステップがうまくいった場合の著明な症状改善は感動的でした。

また研修期間の最後には日本における川崎病のトピックスを報告する機会を与えて頂いたり、胎児診断チームのホームパーティにお招き頂いたりとシアトル小児病院心臓センターのスタッフと大変有意義な交流を持つことができました。

今回、短い期間ではありましたがシアトル小児病院心臓センターで小児心疾患の画像診断を中心とした濃厚な時間を過ごすことができました。今後のこども病院循環器科の診療をより一層改善できるよう鋭意努力してまいりたいと思います。最後になりますが、米国小児循環器医療の第一線で働く医師たちと交流するという大変貴重な機会を与えてくださった丸尾院長、西島副院長、上谷副院長をはじめ、田中亮二郎国際交流副委員長、城戸循環器科長、循環器科および心臓血管外科の皆様に深く感謝いたします。



初日の食事会での撮影



Dr.Lewin 宅で。愛息 Julian が撮影。



カテ室スタッフとの交流。とても親切にいただきました。



同世代の Dr.Olson。川崎病の研究に従事し日本の治療に興味を持っていた。でもいつも忙しそうでなかなか落ちついてい話ができませんでした。





北米西部のカテーテル治療の権威、Dr. Jones。年配ですが、凄い技術を持っています。。。。



休日の CCU 回診後。比較的のんびりして見えますが、あちらこちらで処置が行われています。



プライベートジェットで移植心臓採取に向かいます。